

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、減少している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（１）公共投資・・・弱めの動きとなっている

9月の公共工事請負金額は、地方公社などで減少したものの、市町村や県などで増加したため、前年を上回った。

（図表 1）公共工事請負金額 前年比、%

	2025 年 12 月	2026 年 3 月	6 月	2026 年 7 月	8 月	9 月
山形県	85.7	▲6.2	▲15.6	▲2.6	▲6.9	7.3

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）p は速報値、r は前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（２）設備投資・・・減少している

9月短観における2026年度の設備投資計画（全産業）をみると、製造業は増加するものの、非製造業が減少するため、前年度を下回る計画となっている。

この間、8月の建築着工床面積（民間非居住用）は、卸・小売や運輸が減少したものの、製造業や農林水産などが増加したため、前年を上回った。

（図表 2）県内企業の設備投資額（2026 年 9 月山形短観） 前年度比、%

山形県	2024 年度(実績)	2025 年度(実績)	2026 年度(計画)
全産業	20.3	▲34.0	▲4.0< 1.2>
製造業	18.1	▲33.1	1.6< ▲0.7>
非製造業	24.5	▲35.6	▲14.3< 5.7>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

（図表 3）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
山形県	54.5	81.0	▲45.7	▲4.6	▲13.1	0.7

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費 ・ ・ ・ 緩やかに回復している

8月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）は、前年を下回った。一方で、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターは、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2025年 10～12月	2026年 1～3月	4～6月	2026年 6月	7月	8月
全店	2.7	1.0	0.0	▲3.2	▲2.6	▲1.8
既存店	2.7	1.4	0.4	▲2.8	▲2.2	▲1.4

＜資料＞経済産業省

9月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2025年 12月	2026年 3月	6月	2026年 7月	8月	9月
乗用車 合計	▲3.0	▲15.7	4.1	9.3	1.5	▲7.5
普通車	▲15.8	▲18.5	18.8	7.9	11.8	9.3
小型車	25.2	▲24.4	▲0.2	13.0	16.3	▲4.6
軽四輪	▲4.4	▲7.8	▲5.4	8.3	▲14.3	▲21.8

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資 ・ ・ ・ 下げ止まっている

8月の新設住宅着工戸数は、分譲、持家が増加したものの、貸家が減少し、前年を下回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2025年 9月	12月	2026年 3月	2026年 6月	7月	8月
山形県	▲14.5	10.3	▲39.1	▲10.3	10.2	▲18.4
持家	2.1	▲9.6	▲37.6	34.5	▲2.8	3.6
貸家	▲41.5	51.0	▲39.6	▲48.5	17.9	▲44.8
分譲	20.6	9.1	▲43.2	2.9	76.2	108.3

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直している

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を上回った。業種別にみると、輸送機械や家具など12業種が低下したものの、化学や汎用・生産用・業務用機械など10業種は上昇した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

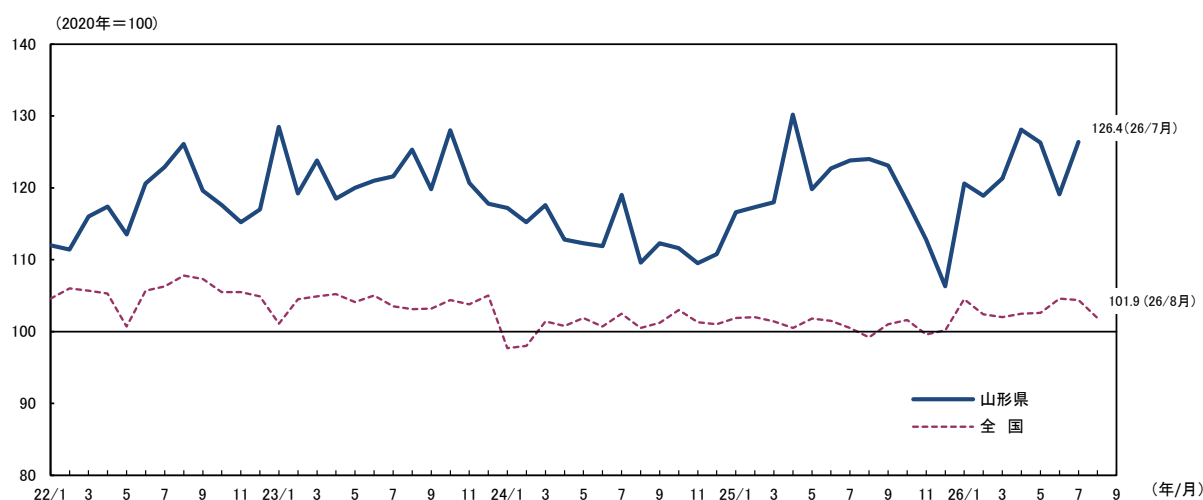
（図表7）鉱工業指数

2020年基準

山形県		2025年 9月	12月	2026年 3月	2026年 5月	6月	7月
生 産	季節調整済前月比%	▲0.7	▲5.8	2.0	▲1.4	▲5.7	p 6.1
	原指数前年比%	15.4	▲4.4	5.6	2.7	▲0.3	p 2.1
在 庫	季節調整済前月比%	1.2	0.9	▲2.2	8.6	▲1.9	p ▲4.7
	原指数前年比%	3.9	7.3	13.1	18.2	16.8	p 3.8

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.36倍となった。業種別の新規求人数をみると、医療・福祉や複合サービスなどが減少した一方、製造業や卸・小売などが増加し、前年を上回った。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2025年 10～12月	2026年 1～3月	4～6月	2026年 6月	7月	8月
有効求人倍率	1.29	1.28	1.35	1.35	1.39	1.36
完全失業率	2.0	2.2	2.3	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

7月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2)

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
常用雇用指数	▲0.3	0.8	0.8	▲0.3	▲0.2	0.9
所定外労働時間	▲11.8	▲14.9	▲12.9	▲8.9	▲3.0	▲2.0

<資料>山形県

7月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	1.9	1.4	0.2	▲1.2	1.9	3.9
きまって支給 する給与	0.7	0.9	1.1	1.0	1.1	3.1

<資料>山形県

5. 企業倒産・・・概ね前年並みとなっている

9月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 10 件、負債総額は 8.0 億円となった(前年同月は 6 件、2.6 億円)。

(図表 12) 企業倒産

件、億円

山 形 県	2025 年 12 月	2026 年 3 月	6 月	2026 年 7 月	8 月	9 月
件 数	4	10	6	7	4	10
負債総額	3.6	7.3	4.8	6.7	24.1	8.0

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回っている

8月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2025 年基準、前年比、%

山 形 市	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
総 合	2.2	1.4	1.2	1.3	1.9	1.4
生鮮食品を除く総合	2.3	1.8	1.6	1.6	1.8	1.5

<資料>山形県

7. 金融

8月の県内預金(銀行+信用金庫) および県内貸出(銀行+信用金庫)は、いずれも前年を上回った。この間、貸出金利は、上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
実質預金+CD (末残前年比)	▲0.3	▲0.1	0.7	1.7	1.5	0.8
貸出金 (末残前年比)	2.4	1.3	2.2	3.1	3.3	2.6

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山 形 県	2025 年 10～12 月	2026 年 1～3 月	4～6 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.036	0.079	0.130	0.081	0.012	0.028

8月末水準
1.431%

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
日本銀行山形事務所
TEL : 023-622-4004